

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

社会医療法人 峰和会

105号

2019.3月発行

発行／社会医療法人 峰和会
編集／鈴鹿回生病院
所在地／鈴鹿市国府町112番地の1
TEL／059-375-1212
FAX／059-375-1717
URL／http://www.kaisei.jp.com
編集協力／TCKnagoya

- 1 医療の現場から
「診療支援課役割紹介」
- 2 あなたの街のお医者さん
「浜口整形外科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
交通案内（三重交通バス・シャトルバス時刻表）
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・ロコモシリーズPart5 ～ロコモとストレス～
・かぶの洋風茶碗蒸し
- 6 回生.com
「ドクターズリスト」健診センター 笠井 智佳
- 7 Information ほっとsmile 他

第11回入賞作品

第12回 桜 フォトコンテスト開催！

今回で12回目を迎えます。皆様のご応募お待ちしております。

応募方法

・申込み用紙に必要事項をご記入の上、作品と併せて応募箱へ入れていただくか、当院広報委員会宛へ郵送してください。

応募箱設置場所

・クリニック受付・小児科プレイルーム・クリニック処置室・病院総合受付

その他

・写真はA4サイズで印刷してください。縦、横どちらでも結構です。
・作品には必ず回生病院敷地内の桜を入れてください。
・作品はお一人1点までとさせていただきます。

受付期間

3/18(月)～4/12(金)まで

※開花時期により期間は変更になる場合があります。

展示期間

4/18(木)～5/16(木)AMまで

選考方法

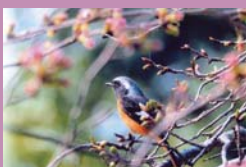
作品は附属クリニック多目的室に掲示し、患者さんと審査員の投票結果にて選考します。
※ご応募いただいた作品は返却いたしませんので予めご了承ください。

応募者全員に参加賞を進呈します。また、投票の結果でお二人の方に賞状と副賞を進呈します。

第11回入賞作品



「涙の先に・・・」



「旅立ちの時」



「ういういしい微笑み」



「桜のランタン」

3月14日は世界腎臓デー

腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、毎年3月の第2木曜日を「世界腎臓デー」とし、啓発キャンペーンが開催されています。当院においても腎臓病教室スタッフが作成したポスターを掲示します。ぜひご覧ください。

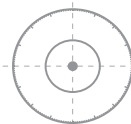
※終了日は前後する場合があります

場所

クリニック多目的室

期間

3月11日(月)
～4月12日(金)



診療支援課

役割紹介

Introduction

診療支援課とは

診療支援課は、診療支援部 荒木 朋浩副院長を筆頭に業務を行っています。「地域完結型医療」をスムーズに実践するため、地域の医療機関からの紹介患者さんの受け入れや、それに続く入院および共同診療の円滑化に向け、様々な取組をしています。当課の4つの部門について簡単に紹介します。

1 医療連携室

中核病院と地域の医療機関、診療所の連携・協力を推進し、病診連携を進めるための役割を担います。紹介患者さんの受入が主で、開業医さんや医療機関へ向けた広報活動なども行っています。医療機関には、機能・規模により、それぞれの役割があります。地域医療連携とは、それぞれの医療機関の機能を有効利用するために、病院と診療所、あるいは病院同士が連携し、患者さんに効率的で適切な医療を継続して受けていただけるように提供する連携のことで、医療連携室は、病院とかかりつけ医・他の医療機関との橋渡しの役割を担っています。

2 医療相談室

患者さんが安心して療養していただくために、不安に思っていることを少しでも取り除いて、治療・療養に専念できるように支援します。

入院が初めての方や、入院費がどれくらいかかるのか？退院後、自宅へ帰れない場合受け入れ先を探すなど、相談内容はさまざまです。また、がん相談

窓口も兼ねていきますので、専門的な部分を踏まえ、その方その方に合わせたご提案をする部門になります。

3 居宅介護支援事業所

退院後、在宅でのサポートが行えるように介護支援相談員（ケアマネジャー）が支援します。介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるようにケアプランの作成やサービス事業者との調整を行います。

4 MA部門

MAとは、メディカルアシスタントの略で、医師事務作業補助者のことを言います。医師に代わって事務作業を行います。主な業務は、医師の指示の下で、診断書や紹介状を記載したり、医師に代わって電子カルテを入力したり、患者さんが初診で来られた時の問診代行入力など、幅広い専門知識が必要とされます。



副院長 荒木 朋浩



診療支援課長 佐藤 雅陽

このように、当院の診療支援課は患者さんの治療が速やかに行えるよう、各部門で日々さまざまな業務に取り組んでいます。地域医療支援病院として各医療機関や施設との連携を大切にし、今後の取り組みとして、入院や退院調整をよりスムーズに行えるように入退院支援部門を充実させたいと考えています。そのためには、例えば、医療相談室は相談だけを行う、連携室は連携業務だけを行うという仕事の仕方では無く、それぞれの部門が視野を広げ、垣根を無くし4部門が「チーム診療支援課」として貢献できる、そんな診療支援課となれるよう、今後も研鑽して参ります。



連携医療機関紹介

浜口整形外科



▲ 濱口貴彦院長

34年目を迎えました

浜口整形外科は、国道23号線から南へ約200mほど入った閑静な住宅街にあります。20台は楽に停められるほどの大駐車場、院内はあかるく広々とした空間がひろがり、待合には、座った姿勢から立ち上がることが困難な方の為の立ったまま寄りかかる事のできる特注の椅子や、高さ違いのソファ、小上がりの畳コーナーなど随所に患者さんへの配慮が感じられます。



院長の濱口貴彦先生は、平成15年（2003年）3月に三重大学医学部をご卒業後、鈴鹿中央総合病院にて初期研修を経て、大学病院、紀南病院、鈴鹿中央総合病院などで整形外科医として研鑽を積まれました。浜口整形外科はご尊父さまである濱口謙蔵先生が昭和60年（1985年）に開業され、その後、平成25年（2013年）10月に全面リニューアルをされました。当初、貴

彦先生は鈴鹿中央総合病院の勤務医でしたが、ゆくゆくはご尊父さまと診療を共に行うビジョンがおり、設計はメインで携わられたそうです。そして、平成26年5月よりご尊父さまと二人体制での診療がスタートしました。「ここでは3年ほど父と二人で診療をしていたのですが、治療方針などが父と自分で不一致になってしまうと患者さんにご迷惑をおかけしてしまうなどの理由から、父は第一線を自ら退き、現在は岩崎病院でリハビリテーション病棟の担当医をしております」。

ご尊父さまの時代から今年で34年目を迎える浜口整形外科は、現在貴彦先生を筆頭に看護師1名、リハビリスタッフ2名、事務2名の6名体制で診療を行っています。

ラグビー協会の
医務院長を務めています

大学時代はラグビー部だった先生。回生病院の大井先生と一緒にいた時期もあるそうですが、「うちは両親が卓球部だったので、自分も卓球をやろうかな？と思った時期もありましたが、先輩の誘いでラグビーを始めました。ラグビーは他のスポーツと違って経験者が少ない為大学から始める事にあまり抵抗がなかったんですね。ラグビーの経験があるということもあり、加藤公院長からのお声かけで、現在三重県のラグビー協会の医務院長としての仕事をさせていただいております。ただ、今はもうラグビーは一切やっていないので、健康維持の為にも患者さんと呼びに行く時は自ら歩いたり、週に1回はスポーツジムに通い汗をながしています」。

DATA

TEL 059-386-6211

住所

三重県鈴鹿市白子3丁目14-5

診療科目

- 整形外科
- リハビリテーション科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



患者さんへのメッセージ

～整形の疾患には手術適応のもの、疾患と上手くつきあって行く温存療法がありますが、温存療法適応でも進行すれば手術適応になることもあります。ただ、昨今は手術無しで過ごしたいという方も多いので、その方のQOLに合わせた治療方針を模索し、その疾患との付き合い方を丁寧に対応するよう心がけています。また、こんな事を聞いたら失礼なんじゃないか？こんな事を聞くために受診してもいいのかな？などと思わずに、気軽に相談のつもりで私たちかかりつけ医を大いに利用していただければと思います。その中で、必要があれば然るべき医療機関へご紹介させていただきます～

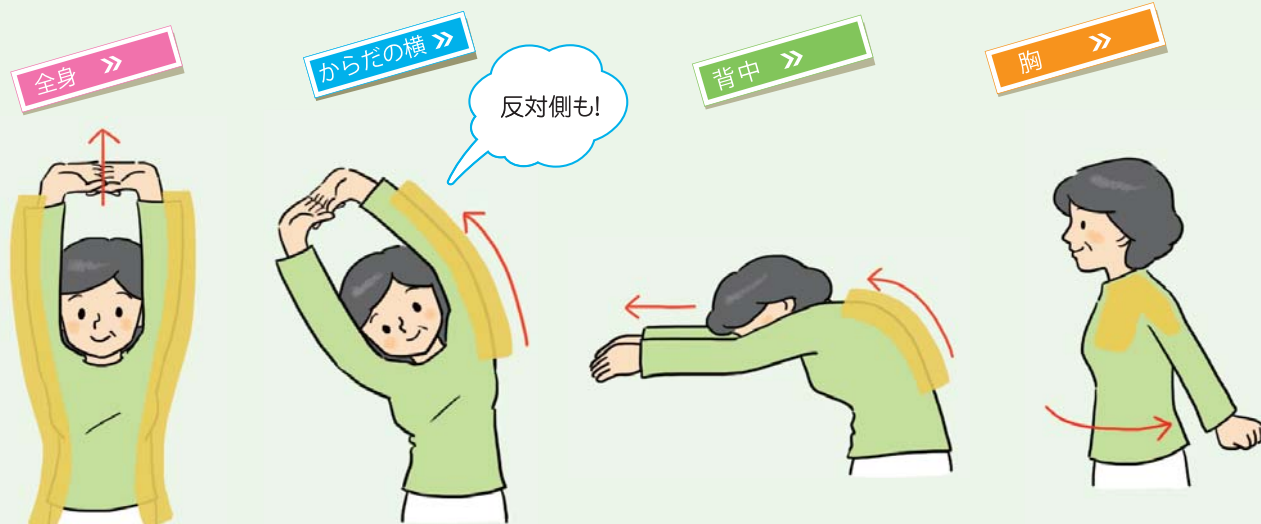
今後も、この地域のかかりつけ医としてのご活躍を期待しています。

みなさんは睡眠時間の確保はできていますか？

ストレスは不眠だけでなく、身体の痛みを感じやすくさせ、腰痛の原因の1つにもなります。身体を動かす事は、ストレスを発散し、心地よい眠りを誘います。運動する時間のない方は寝る前に深呼吸しながら全身のストレッチを行ってみましょう。



理学療法士
加藤 俊宏



★ゆっくり10秒間、呼吸を止めずに行いましょう！

発信@

栄養管理室

管理栄養士
田川久美子



かぶ

ピックアップ食材



かぶの洋風茶碗蒸し

【材料】(6人分)

かぶ(根)	正味250g
水	300cc
溶かしバター	20g
※ブイヨン粉末(塩分入り)	8g
※なければコンソメ	
生クリーム	大2杯
白ワイン	大1杯
卵Mサイズ	2個
かにかま	40g
かぶの葉	80g

【作り方】

- ① かぶは厚めに皮をむき、おろし金でおろす。
- ② ボウルに卵を入れて溶きほぐし、①とAを入れてよく混ぜる。
- ③ 容器に②を入れて、茶碗蒸し同様に蒸す。
- ④ かぶの葉は5mmほどに切り、茹でて絞っておく。
- ⑤ ④にほぐしたかにかまとかぶの葉をのせる。

●かぶ

かぶの葉はカルシウム、カロテン、ビタミンC、Eなど多くの栄養素が豊富に含まれる緑黄色野菜です。一方、根は栄養面では葉に劣りますが、ビタミンCや葉酸、カリウムなどが含まれ、どちらも生活習慣病予防には欠かせません。

かぶの葉に近い根の部分には消化酵素のジアスターゼが多く含まれており、でんぷんを分解し、胃腸の消化を高める働きがありますが、加熱に弱いため生で食べると良いでしょう。

●調理のポイント

根の外側はすじが多いので、煮物などの場合は皮を厚くむくようにしましょう。

【栄養成分】1人分あたり

エネルギー	98kcal
たんぱく質	4.1g
脂質	6.8g
塩分	1.0g
食物繊維	1.1g

このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

Doctors List

笠井 智佳

かさい ちか

健康管理センター長

専門領域:消化器内科

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医、日本医師会認定産業医、三重大学医学部臨床准教授、人間ドック健診情報管理指導士



Q1. 出身地はどちらですか？ 幼少時の思い出を聞かせてください

四国の徳島県美馬市脇町出身です。徳島は阿波踊りと鳴門の渦潮で有名な県で、脇町はうだつの町として有名です。幼稚園から高校まで脇町で、その後徳島大学医学部進学と、ずっと地元で過ごしましたが、医学部卒業後、結婚を機に三重大学医学部での研修および関連病院での勤務をさせていただき現在に至ります。幼少時は動物が好きで鳥・ヤギ・ウサギ・犬・猫などを飼っており、餌を食べるのを観察するのが好きな子供でした。

大学時代



Q2. なぜ医師をめざしたのですか？

父に心疾患の持病があり、小学校低学年から自然と医師を志すようになりました。ただ、私が医学部6年の秋、父が持病の手術後、一度も目を覚ますことなく亡くなってしまい、医師になった姿を見せることができなかった事に、今でも葛藤があります。父が病院で亡くなった際、主治医が医学部生の私に死亡確認と一緒にさせていただき、医師の卵としてですが、最初に看取った患者が父となります。仕事に向き合う上での心構えはこの時の経験が影響していると思います。

Q3. 学生時代の思い出をお聞かせください

大学では軽音部に所属し、キーボード担当として演奏しておりました。当時はシンセサイザーへの打ち込みという、自動演奏のプログラムを組むのにはまっておりました。現在でも音楽は大好きです。

自宅の楽器部屋



Q4. 消化器内科を専門にしたのはなぜですか？

学生時代に外科に憧れていた時期もありましたが、内科のなかで、内視鏡検査を含め、いろいろな手技を学べて非常に興味深く診療に当たることが出来たからです。

Q5. 趣味や好きな事 (ストレス発散方法など)は何ですか？

音楽鑑賞とペットショップや猫カフェに行くことです。自宅にはピアノ・キーボード・電子ドラム・ギター・ベース・サクソ・バイオリン(子供の習い事)など、さまざまな種類の楽器があり家で音楽好きです。ペットについては自宅で長毛種の猫2匹(ノルウェージャンフォレストキャットとメインクーン)を飼っております。休日は3人の子育てに追われる日々ですが、時間をみつければペットショップにふらっと立ち寄って、猫を眺めるのが密かなストレス発散法です。



Q6. 今後力を入れて 行きたいことは何ですか？

健康管理センター長として予防医療に取り組んでおります。病気になる前の予兆を捉え、より健康寿命を伸ばせるようお手伝いさせていただければ幸いです。また、将来的には個々に応じたオーダーメイドの健診が出来るよう、様々なオプション健診(脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク予測・腸内環境ドック・遺伝子関連検査等)も順次導入予定です。

Message

患者さんへのメッセージ

地域の皆さんに愛される健康管理センターを目指し、スタッフ一同日々精進いたしますので、是非当院健康管理センターをご利用ください。

糖尿病教室のお知らせ

4月・6月は昼食付き（指示範囲内で
お好きな料理を選んでいただきます）
5月は手作りお菓子付き!!

4/19（金）	11:30～13:45
5/14（火）	14:00～16:00
6/21（金）	11:30～13:45

お申し込みまたはお問合せ先

栄養管理課：059-375-1329

参加費：4月・6月お一人様 1000円（食事代込み）5月 お一人様 500円（お菓子代込み）

※定員になり次第予約を締め切らせていただきますのでご了承ください。

腎臓病教室のお知らせ

腎臓病ではなくても関心のある方なら
どなたでも参加していただけます。
次号で9月までのスケジュールをお
知らせします。

4/25（木）	11:45～13:30
5/30（木）	11:45～13:30
6/27（木）	11:45～13:30

お申し込みは

開催の1週間前までに下記までお申し込みください。

栄養管理課：059-375-1329

参加費：お一人様 1000円（食事代込み）

平田野中学職業講話

2月8日平田野中学1年生を対象に、
職業講話がありました。看護師の辻
さんより「看護師のやりがい、資格
の取得方法、病院・保育所や企業
での仕事」薬剤師の福浦さんより
「薬剤師のイメージ、調剤、医師・看
護師と行う患者さんへの治療の携
わり」について、話をしました。将来を考えるきっかけになれば幸いです。



三重県体育協会体育功労者賞表彰

当院の藤澤幸三名誉院長が長年三重県体育協会
の副会長を務め、また、スポーツドクターとして、
三重県の競技力向上やスポーツの普及に貢献をさ
れた功績が認められ、去る2月12日三重県体育協
会の体育功労者賞を授与されました。



ゴールデンウィーク中の

病院及び附属クリニックの外来診療について

4月30日（火）、5月1日（水）、5月2日（木）は診療を行う予定です。ただし、
期間中は外来担当医や診療範囲を制限する場合がありますのでご了承く
ださい。

ほっと smile レシピコンテストで 優秀賞を受賞しました



2019年1月11日～13日にパシフィコ横
浜で開催された、第22回日本病態栄養学
会年次学術集会レシピコンテスト『地域の
伝統を生かした腎臓病食』におきまして、
当院の栄養管理課が優秀賞を受賞いたしま
した。

郷土食のとりめしや鈴鹿産抹茶を練り込ん
だいばら餅をメニューに取り入れたほか、
自慢の一品として、鈴鹿産サクラポークを
使用し、三つの辛味を取り入れた三辛和え
そばを試食・評価して頂きました。

今回のレシピは病院ホームページの健康ひ
ろば内の「健康と栄養のバランスにいいレ
シピ」に掲載します。多くのレシピを掲載し
ておりますので、そちらもご覧ください。

新任医師のご紹介



泌尿器科

鈴木 竜一

（スズキ リュウイチ）



健診センター

南 結

（ミナミ ユキ）



編集後記

今回は「診療支援課役割紹介」を中心に、医療連携紹介など
をお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・
ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地の1

TEL059-375-1212 ■ mail:info@kaiseihp.com

病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶ 将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶ 地域と連携し災害時救援活動を行います
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます